

千歳市環境整備事業協同組合の 熊谷さんと五十嵐さんに聞く！ 「千歳市の除雪対策」

毎年12月から3月末までの間、除雪車110台、作業人員約200名で除雪対応します。ちなみに新雪除雪は降雪量10cmが目安で、作業を開始します。そのほか、雪で凸凹の道路を整備する路面整正、道幅を広くする拡幅除雪、凍結防止剤を散布するスリップ防止なども行います。(五十嵐さん)

千歳市で初めて冬を過ごす方は、除雪時の転倒などに注意してください。また、風雪時には外出を控えた方が安全です。最後に、夜間の路駐は除雪作業の妨げになりますので、駐車場に止めるようお願いいたします。(熊谷さん)



千歳市環境整備事業協同組合

事務局長
熊谷 徹さん

道路部 次長
五十嵐 剛さん

■主な除雪方法



市道除雪

間口に雪を置かないよう配慮し、低速で除雪ドザーを運転し路肩や施設帯に雪を寄せます。排雪は大型のロータリー除雪車により、ダンブトラックに積み込んだ雪を雪捨て場に運びます。



パートナーシップ 除雪排雪支援制度

千歳市では町内会などが自主的に生活道路の拡幅除雪や間口除雪、または公共用施設の通路、駐車場等の除雪を行う場合の支援として、小型の除雪機や排雪用ダンブトラックの無料貸出しを行っています。

冬の暮らし ワンポイントアドバイス

アドバイス1 玄関前は自分で除雪！



家の前などの私有地は、除雪用スコップやそりのように雪を押しして運ぶスノーダンプを使って、各家庭で行います。雪捨てで隣近所に迷惑をかけるないように注意しましょう。

アドバイス3 エアコンよりストーブ！

北海道の住宅は、壁や床に断熱材が使用されているので、冬でも室内は暖かいです。暖房器具はエアコンよりも灯油ストーブが主流です。一定時間ごとに換気をしないと結露を生じる暖房器具もあるので要注意です。

アドバイス2 水道凍結に注意！

外気温が-4℃以下の夜や、真冬日（最高気温が氷点下の日）が続く夜は、水道が凍結する恐れがありますので、水道管の「水抜き」が必要です。「水抜き」の方法は建物によって異なりますので、事前に確認しておきましょう。

アドバイス4 車は「寒冷地用」に！

冬道での運転は「スタッドレスタイヤに履き替える」、「不凍結タイプのウォッシャー液を用意する」など、車を「寒冷地用」にします。10月を過ぎた頃から準備に入るので、まずは、近所の方に相談しましょう。